



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年4月20日

上場会社名 株式会社マクアケ 上場取引所 東
 コード番号 4479 URL <http://www.makuake.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 亮太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田村 祐樹 TEL 03-6328-4038
 四半期報告書提出予定日 2021年4月21日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の業績 (2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	2,100	87.2	63	△73.6	62	△73.9	40	△75.4
2020年9月期第2四半期	1,122	—	239	—	240	—	164	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	3.44	3.27
2020年9月期第2四半期	15.24	14.14

(注) 1. 2019年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2020年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2019年12月11日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	9,837	—	6,618	—	—	67.1
2020年9月期	6,173	—	2,673	—	—	43.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 6,597百万円 2020年9月期 2,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,172	60.4	620	21.5	617	20.6	450	21.8	38.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	12,214,700株	2020年9月期	11,667,700株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	24株	2020年9月期	24株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	11,788,431株	2020年9月期2Q	10,806,244株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、「生まれるべきものが生まれ、広がるべきものが広がり、残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、新しいものを作り広めたいと思う事業者と、自分の趣味嗜好に合った新しいものに出会いたいと思う消費者をつなぐプラットフォーム「Makuake」を運営しております。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますが、国内外の感染拡大防止策を講じる中で、回復の動きが期待されております。しかし、今後の感染症拡大状況の変化による世界的な景気の下振れリスクには十分注意が必要であり、先行きが不透明な状況は今なお続いております。

当社の経営環境は、新商品販売におけるオフラインの新商品デビュー市場及び新商品デビューにおけるEコマース市場、新サービスにおける予約販売Eコマース市場等の複数の市場の影響を受けており、新商品や新サービスデビューのEコマース市場は非常に高い成長ポテンシャルがあると考えております。

このような状況のもと、当社は日本社会のDX化を追い風に、従来の商流におけるイノベーションを加速させ、事業者(プロジェクト実行者)が新商品や新サービスを量産前にオンライン上でデビューさせ、テストマーケティング、PRする場を提供することで従来のオフライン中心の商流では生まれづらかった素晴らしい技術やアイデアの商品やサービスを世に生み出すサポートを続けております。

また、消費者(プロジェクトサポーター)には、これまでの消費では体験できなかった、自分の趣味嗜好に合った商品を誰よりも早く手に入れる特別感や事業者(プロジェクト実行者)と直接つながる連帯感、商品が作られるまでのストーリーを知ることで生まれる信頼感及び期待感を味わいながら購入する応援購入という新しい消費の形を提供し、認知を広げております。

当第2四半期累計期間は、第1四半期会計期間において注力・強化した品質保証体制を基盤に、応援購入総額の伸張施策を進めました。具体的にはテレビコマーシャルの放映やテレビ番組等を通じた露出の拡大、「Makuake」におけるレコメンデーション機能の強化などを展開し、掲載プロジェクト数を増やすとともに、アクセスユニークユーザー数の増加や応援購入数の向上を図りました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,100,387千円(前年同四半期比87.2%増)、営業利益は63,362千円(同73.6%減)、経常利益は62,911千円(同73.9%減)、四半期純利益は40,597千円(同75.4%減)となりました。

なお、当社は応援購入サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は9,837,169千円となり、前事業年度末と比べ3,663,723千円の増加となりました。

流動資産は3,396,672千円増加し、9,044,510千円となりました。主たる要因は、現金及び預金が3,384,347千円増加したことによるものであります。

固定資産は253,260千円増加し、766,528千円となりました。主たる要因は、投資その他の資産が126,994千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は3,219,125千円となり、前事業年度末に比べ281,303千円の減少となりました。

流動負債は287,983千円減少し、3,184,109千円となりました。主たる要因は、その他に含まれる未払金が336,320千円減少したことによるものであります。

固定負債は6,680千円増加し、35,016千円となりました。これは、勤続インセンティブ引当金が6,680千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は6,618,044千円となり、前事業年度末に比べ3,945,026千円の増加となりました。主たる要因は、海外募集による新株式を発行したこと等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,946,970千円、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が40,597千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高は、前事業年度末に比べ3,384,347千円増加の8,493,699千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果、減少した資金は200,286千円(前年同期は725,433千円の増加)となりました。これは主に、未払金の減少額314,125千円によるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果、減少した資金は293,512千円(前年同期は100,642千円の減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出140,121千円によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果、増加した資金は3,876,335千円(前年同期は1,879,914千円の増加)となりました。これは、株式の発行による収入3,876,335千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、2020年9月期決算発表時から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,109,351	8,493,699
売掛金	530,318	442,506
その他	15,164	115,301
貸倒引当金	△6,996	△6,996
流動資産合計	5,647,838	9,044,510
固定資産		
有形固定資産	46,969	49,361
無形固定資産	356,458	480,332
投資その他の資産		
その他	117,376	244,370
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	109,839	236,833
固定資産合計	513,267	766,528
繰延資産	12,340	26,131
資産合計	6,173,446	9,837,169
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	155,480	46,796
預り金	2,345,603	2,581,817
その他	971,008	555,495
流動負債合計	3,472,093	3,184,109
固定負債		
勤続インセンティブ引当金	28,336	35,016
固定負債合計	28,336	35,016
負債合計	3,500,429	3,219,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,847	3,083,817
資本剰余金	1,136,847	3,083,817
利益剰余金	388,949	429,547
自己株式	△115	△115
株主資本合計	2,662,529	6,597,067
新株予約権	10,488	20,976
純資産合計	2,673,017	6,618,044
負債純資産合計	6,173,446	9,837,169

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,122,081	2,100,387
売上原価	221,016	361,654
売上総利益	901,064	1,738,733
販売費及び一般管理費	661,196	1,675,370
営業利益	239,868	63,362
営業外収益		
講演料等収入	2,427	3,344
その他	205	19
営業外収益合計	2,633	3,364
営業外費用		
支払利息	111	-
株式交付費償却	1,700	3,815
営業外費用合計	1,811	3,815
経常利益	240,690	62,911
税引前四半期純利益	240,690	62,911
法人税、住民税及び事業税	78,067	25,206
法人税等調整額	△2,103	△2,891
法人税等合計	75,963	22,314
四半期純利益	164,727	40,597

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	240,690	62,911
減価償却費	27,773	43,671
のれん償却額	-	666
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,426	-
勤続インセンティブ引当金の増減額(△は減少)	7,452	6,680
支払利息	111	-
株式交付費償却	1,700	3,815
売上債権の増減額(△は増加)	△84,635	87,812
未払金の増減額(△は減少)	71,141	△314,125
未払費用の増減額(△は減少)	△17,338	△25,552
預り金の増減額(△は減少)	457,014	236,213
未払消費税等の増減額(△は減少)	37,694	△79,192
その他	5,559	△86,928
小計	750,590	△64,029
利息の支払額	△97	-
法人税等の支払額	△25,049	△136,405
法人税等の還付額	-	148
営業活動によるキャッシュ・フロー	725,443	△200,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△503	△7,678
無形固定資産の取得による支出	△90,137	△140,121
投資有価証券の取得による支出	△10,001	△83,176
敷金及び保証金の差入による支出	-	△62,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,642	△293,512
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,957,414	3,876,335
短期借入金の返済による支出	△50,000	-
長期借入金の返済による支出	△27,500	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,879,914	3,876,335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,504,714	3,382,537
現金及び現金同等物の期首残高	879,340	5,109,351
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	1,810
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,384,054	8,493,699

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2021年1月22日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行1,000株により、資本金が4,440千円、資本剰余金が4,440千円増加しております。また、2021年2月24日を払込期日とする海外募集に伴う新株式の発行500,000株により、資本金が1,937,792千円、資本剰余金が1,937,792千円増加しております。

また、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,120千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金3,083,817千円、資本剰余金3,083,817千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。